



箱根町記者発表資料

大涌谷周辺の火山ガス濃度上昇への対応について（続報）

8月31日（火）と9月2日（木）の2度にわたり二酸化硫黄の計測値が5ppmを越え、避難誘導マニュアルにより屋内避難を行う事象が発生しました。1回目の発生時は自然現象によるものと推定しましたが、短期間に2回も発生したことは不自然であり、自動計測装置が正しく計測していないことも考えられることから、9月3日（金）以降は携帯型の計測器による濃度確認も併せて行うこととしました。その結果、特に濃度上昇の見られていた極楽茶屋横においても0.0ppm～1.0ppmの間で安定した濃度であることを確認しています。原因を究明するため、9月8日（水）に整備業者の点検を受けましたので、その結果をお知らせします。

1 点検箇所

自動計測装置のセンサーに装着されたフィルター

（火山ガスには複数の成分が混合されており、その中から二酸化硫黄の成分だけを抽出して測定するためセンサーにフィルターが取り付けられています。フィルターが劣化することにより他のガスも計測値に加わってしまう可能性があります。）

2 点検結果

フィルターを交換して再度ガス濃度を計測したところ、携帯型の計測器と測定値が一致しました。そのため、フィルターの劣化が原因であった可能性が高いと推測されます。なお、自動計測装置は年1回の定期点検を実施しており、直近の令和2年12月8日・9日の点検時には異常はありませんでした。

今後も安全対策に万全を期してまいります。

照会先

箱根町総務部総務防災課 危機管理官

電話0460-85-9562

E-mail bousai@town.hakone.kanagawa.jp